

# 古井戸 祐樹

こいど ゆうき

Yuki Koido

子ども教育学部 子ども教育学科 講師

## 学歴・学位

早稲田大学 教育学部 地理歴史専修 卒業

早稲田大学大学院 教育学研究科 学校教育専攻 博士前期課程 修了 修士（教育学）

## 主要職歴

令和4年4月～令和5年3月	東京都立産業技術高等専門学校 品川校 非常勤講師(国際社会と文化Ⅱ)
令和4年4月～令和6年3月	日本学術振興会特別研究員 DC2
令和5年4月～令和6年7月	千葉大学 非常勤講師（道德教育の理論と方法③）
令和6年4月～令和6年8月	文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 学力調査専門職
令和6年10月～令和7年3月	聖ヶ丘保育専門学校 非常勤講師（教育課程総論）
令和6年10月～令和7年3月	東都大学 非常勤講師（教育原論）
令和6年10月～令和7年3月	埼玉県立大学 非常勤講師（教育学）
令和7年4月～現在に至る	広島都市学園大学 講師（教育の原理、道德教育指導法）ほか

## 専門分野

教育学、教育哲学、教育思想

## 主な担当科目

教育の原理、道德教育指導法、教育概論、ヒロシマのこころ、学びのベーシック(2)、QOL 概論、

## 研究テーマ

ユージン・ジェンドリンの「暗在性の哲学」における教育哲学研究。

## ひとこと

4年間を通して、自分の学びたいことや頑張りたいことを追求してみてください。その先に必ず自分の成長を実感できる日が来ます。そのような日がみなさんに訪れるように、教育哲学・教育思想の視点から応援します。

## その他（所属学会・団体）

日本デュイ学会、教育哲学界、アメリカ教育学会、関東教育学会、日本人間性心理学会、日本生活科総合的学習教育学会、日本特別活動学会

## 研究活動

---

### 学術論文

- 1) 幼児教育における体験過程の教育学的意義－フォーカシング指向心理療法の観点から着目して－(単)『早稲田大学教育学起用』第 21 号 pp.97-103.
- 2) 道徳教育における「主体的・対話的で深い学び」とジェンドリンの哲学の可能性：「体験過程 (experiencing)」と「感じられた意味 (felt meaning)」に着目して (単)『早稲田大学教育学会紀要』第 22 号 pp.46-52.
- 3) ジェンドリンの暗在性の哲学における「感じられた意味」の機能的意義－デューイの「経験」の感情的側面を手掛かりに－ (単)『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』第 28 巻 2 号 pp.25-32.
- 4) 生徒指導・教育相談における「体験過程 (experiencing)」の意義―ロジャーズの中核 3 条件における「一致」を踏まえて― (単)『早稲田大学教育学会紀要』第 23 号 pp.25-32.
- 5) ユージン・ジェンドリンの「感じられた意味」における「隠喩」と「把握」の機能的意義―「デューイの「示唆」の出現の再解釈― (単)『日本デューイ学会紀要』第 62 号 pp.1-10.
- 6) 総合的な学習の時間における教科等横断的な視点に関する一考察－教材間の相互作用を通じた認知の変化に着目して－ (単)『早稲田大学教育学会紀要』第 24 号 pp.42-47.
- 7) ダッハウ強制収容所から考える「死」の象徴化と「想起」の困難さの向き合い方について (単) ミュンヘン大学日本センター、ポスター発表
- 8) ユージン・ジェンドリンの「体験過程」と「感じられた意味」を用いたデューイの「指導観念」形成への応用可能性 (単)『日本デューイ学会紀要』第 64 号 pp.81-90.
- 9) カール・ロジャーズの「一致」に関するジェンドリンの哲学的アプローチ-デューイの経験主義を思想的背景に捉えて- (単)『日本デューイ学会紀要』第 65 号 pp.11-20.

---

### 学会発表

- 1) ユージン・ジェンドリンの「フェルトセンス」の教育学的意義－デューイの反省的思考の拡張可能性について.－第 63 回日本デューイ学会口頭発表、慶応義塾大学、令和元年 10 月
- 2) ユージン・ジェンドリンの「暗在性の哲学」におけるデューイの経験主義の影響.第 101 回暗在性の哲学研究会、Zoom オンライン、令和 3 年 2 月
- 3) ユージン・ジェンドリンの「体験過程」と「感じられた意味」によるデューイの指導観念の形成の再解釈.第 64 回日本デューイ学会口頭発表、Zoom オンライン、令和 3 年 9 月
- 4) 子どもの「示唆」の生成を促進するアプリケーションの開発の中間発表①： J・デューイと E・ジェンドリンの哲学を援用して.超異分野学会東京大会 2022、Zoom オンライン TOC 五反田メッセ、令和 4 年 3 月
- 5) 子どもの「示唆」の生成を促進するアプリケーション： J・デューイと E・ジェンドリンの哲学の援用を目指して.教育の国際化研究会第 9 回研究大会、Zoom オンライン、令和 4 年 3 月
- 6) ジェンドリンの TAE における教育的意義―デューイの経験主義における相互作用を踏まえて.TAE シンポジウム 2022、Zoom オンライン、令和 4 年 3 月
- 7) フェルトセンスとデューイの「示唆」を関連させた「総合的な学習の時間」の教育原理構想へ.第 5 回日本ジェンドリン学会―ジェンドリンの思考論―Zoom オンライン、令和 4 年 5 月

- 8) ダッハウ強制収容所博物館の展示物配置に関する調査報告. ミュンヘン大学日本センター、令和4年8月
- 9) ジェンドリンの「プロセスモデル」－実践哲学の息吹－. 第41回日本人間性心理学会自主シンポジウム、於：Zoom オンライン、令和4年9月
- 10) 総合的な学習の時間における教科等横断的な視点に関する一考察－教材間の相互作用を通じた認知の変化. に着目して－. 早稲田大学教育学会 2022 年度研究大会、Zoom オンライン、令和5年3月
- 11) 教育思想としてのジェンドリン哲学：その展開可能性. 第42回日本人間性心理学会自主シンポジウム、福井 AOSSA、令和5年9月
- 12) ダッハウ強制収容所から考える「死」の象徴化と「想起」の困難さの向き合い方について. ミュンヘン大学日本センター、令和5年9月
- 13) カール・ロジャーズの「一致」に関するジェンドリンの哲学的アプローチ－「体験過程」と「感じられた意味」の機能に基づいて－. 第64回日本デューイ学会口頭発表、広島大学、令和5年9月
- 14) ユージン・ジェンドリンの普遍性の原理 IOFI における再帰性の教育的意義－ジョン・デューイの「示唆」の出現に着目して－. 第66回教育哲学会口頭発表、九州大学伊都キャンパス、令和5年10月

---

#### その他

##### 外部資金獲得

- 1) 日本学術振興会 科学研究費補助金（特別研究奨励費）2022年4月～2024年3月
- 2) ドイツ学術交流会 DAAD-早稲田大学パートナーシッププログラム 戦争を記憶する－博物館や追悼施設は若者に訴えることができているか、東京とミュンヘンで考える 2022年4月～2024年3月